

平成22年1月26日

各 位

上場会社名 FCM株式会社
代表者 代表取締役社長 市居 律雄
(コード番号 5758)
問合せ先責任者 専務取締役 管理本部長 川森 晋治
(TEL 06-6975-1324)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年9月9日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,000	392	460	274	160.78
今回発表予想(B)	13,600	446	516	310	181.91
増減額(B-A)	600	54	56	36	
増減率(%)	4.6	13.8	12.2	13.1	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	18,120	152	131	66	38.86

修正の理由

全部門に於いて、年度初めから取り組んで参りました原価低減及び経費削減の継続実施、生産性向上に寄与する項目の細部にいたるまでの徹底的な洗い出しと実施、受注確保の為のコストの見直しと高付加価値品の受注率アップに取り組んできた結果、当初の見込みを上回るペースで業績の改善が進んでまいりました。

その結果、平成21年9月9日に公表した通期における業績予想を上回る見込みとなりましたので上方修正することといたします。

しかしながら、電気機能線材事業では、長引く建築不況や設備投資の低迷、原材料である銅の価格も高騰していることから、主要販売先である汎用電線市場の回復は先になる見通しであること。また、電子機能材事業の属する電子部品業界は海外勢の台頭が一段と顕著となり、国内における高付加価値市場での競争がますます激化しておりますことから、当面の事業環境が短期間で激しく変動するという懸念もあり、今後の経営環境については決して楽観視できない状況であると認識しております。

※上記予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

以 上